

放課後等デイサービス自己評価表連絡会(児童部門) 事業所向け 自己評価表 (令和3年度)

事業所名 (ハロハロキッズ)

人数 (7名配布中 7名)

評価期間 (令和3年度)

		チェック項目	はい	どちらともいえない	いいえ	改善目標、工夫している点など
環境・体制整備	①	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係が適切であるか	3	3	1	コロナ禍ということもあり、少人数の時は各部屋に分けて工夫しながら活動等行うが、定員いっぱいの際は、部屋数が少ないと感じる 時々、他事業所の空き部屋を借りて分散支援を行う努力をしている。
	②	職員の配置数は適切であるか	6	1		制度上の数には問題はないが、障害特性やその時の利用者の状態によって職員がマンツーマンに着かなければならない為、職員数を増やしている。
	③	事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされているか	1	6		トイレやスロープやドアには配慮してあるが、廊下の広さや玄関などに課題があると感じる
業務改善	④	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に広く職員が参画しているか	6	1		会議において定期的に確認・振り返りをしている。 最近ではコロナ禍で頻りに会議が出来ないが、文章や聞き取り等を行うようにしている
	⑤	保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげているか	7			アンケートはしていないが、その都度の保護者等の意向の把握は共有出来ている。会議で確認しその都度改善に努めるよう努力している。
	⑥	この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開しているか	7			ホームページで公開している

	⑦	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか		6	1	福祉サービス第三者評価機関の受審は受けていない。
	⑧	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか	7			研修には積極的に申し込んでいるが、コロナ禍で延期になってしまうことが多い。リモートで受けれる研修はできるだけ受けている
	⑨	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか	7			常に保護者や学校の先生方と話をしている。子どもの様子も一人の職員だけでなく他の職員も見てもらい多方面からの視野でアセスメントしている。
	⑩	子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか	3	4		行動状況をみながら使っているが、使いながら修正していくことにスピード感が足りないときがある

		チェック項目	はい	どちらともいえない	いいえ	改善目標、工夫している点など
適切な支援の提供	⑪	活動プログラムの立案をチームで行っているか	6	1		基本的には正規職員が立案するが、その日の状況や天気、コロナの発生状況等を見て、職員同士で相談してプログラム変更を行うことが増えている。
	⑫	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか	6	1		コロナ禍で制限されてしまう活動もあるが、なるべく利用者が安心安全に活動できるように内容を考え工夫している
	⑬	平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援しているか	6	1		支援が始まる前に全職員で申し送りの時間をとり、利用者の情報共有と一日のスケジュールを確認している。
	⑭	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ合わせて放課後等デイサービス計画を作成しているか	7			発達段階に応じて活動内容の工夫や個別・集団の組み合わせをしている

⑮	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか	7			支援開始時間が異なっている為、集まったの打ち合わせはできないが、申し送りやその日の支援内容は必ず担当職員に伝えている
⑯	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか	2	5		全員の振り返り時間は毎日取れない。正規職員に振り返り・報告をしてもらい皆に周知する形をとっている。
⑰	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか	7			担当した職員が必ずケースを打っている。記録に残すことは大切だと意識している。正規職員が確認して検証・改善方法を会議で話し合っている
⑱	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断しているか	7			ケース会議とスタッフ会議を月に1回行い、話し合っている。コロナ禍でできないときは文章を出し、各自に聞き取りをしながら見直している。
⑲	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせさせて支援を行っているか	7			ガイドラインの基本活動を、改めて職員に伝えていると思っている
⑳	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画しているか	6	1		基本的に児発管とリーダー職員どちらかが参画している。会議前には、他職員の意見や見解を確認して会議に行っている
㉑	学校との情報共有(年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等)、連絡調整(送迎時の対応、トラブル発生時の連絡)を適切に行っているか	7			各学校とはうまく連携が取れていると思う。
㉒	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えているか		7		医療的ケアが必要な利用者さんはいない

	チェック項目	はい	どちら	いいえ	改善目標、工夫している点など
--	--------	----	-----	-----	----------------

			ともいえない		
関係機関や保護者との連携	⑳	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか	7		新規の利用者さんの詳細は特にしていない。 職員会議で情報共有をしている
	㉑	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか	7		2年前の移行者の情報提供はしている。キッズでは後4年間は卒業生がいない。その卒業生が移行するときは情報提供する
	㉒	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか	6	1	課題がある利用者さんに関しては、通院同行やキッズでの様子を文書にまとめて各関係機関に相談をしている。
	㉓	放課後児童クラブや児童館との交流や、障害のない子どもと活動する機会があるか		7	コロナ禍で現在は行っていない
	㉔	(地域自立支援)協議会等へ積極的に参加しているか	7		基本的に児発管が参画している
	㉕	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか	7		毎回連絡帳でのやり取り、引き渡し時に話をしている。状況や課題もすぐに正規職員に報告し皆に周知している。
	㉖	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っているか	2	5	正規職員に任せてしまうことが多い。 ペアレントトレーニングについて良く分からない 勉強が必要であると感じる
保護者へ	⑳	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか	6	1	基本的には正規職員が保護者に説明しているが必要時は正規職員からの支持でパートでも保護者に対して伝えるべきことは伝えている。

③①	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか	6	1	相談があったときは、勝手に判断せず、一旦正規職員に報告し相談したうえで助言等行う体制を作っている。 相談を受け話を聞くが、安易な考えで発言はしないようにしている
③②	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか		7	保護者会はない。コロナ禍で保護者と一緒のイベントも開催していない
③③	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか	7		保護者からの苦情案件はすぐに確認、体制作り、等整備し対応している。職員にもすぐに共有している
③④	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信している		7	毎月のプログラム（活動）やコロナ対策の紙面は、出している。 会報は出せていないので、来年度は定期的に出すように活動計画に入れている

チェック項目		はい	どちらともいえない	いいえ	改善目標、工夫している点など
③⑤	個人情報に十分注意している	7			常に、職場から注意喚起されている これが出来なければ、この職に携わる資格はないと思っている
③⑥	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか	7			連絡帳のやり取りや引き渡し時でのやり取りで意思疎通が図れるよう、配慮している 込み入った相談等受ける時は、別の部屋で話をするなど環境設定にも気を付けている

	③⑦	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っているか		7		コロナ禍で行えていない
非常時等の対応	③⑧	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知しているか	5	2		職員はマニュアルを周知しているが、保護者に関しては全ての保護者が周知しているかは不明。改めて周知する機会を設けたいと思う
	③⑨	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか	7			毎月、1回～2回 避難訓練を行っている。
	④⑩	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか	7			事業所でも、法人でも全ての職員に研修を行っている。
	④①	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか	7			前々から障害特性で、やむを得ず、拘束をせざるを得ない場面がある利用者には個別支援計画に乗せている。 突発的に拘束してしまうことがあった時は、保護者に状況説明をして今後の対応を相談している。
	④②	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか	7			医師や保護者の指示に基づき、対応策が表にして職員が分かるようにしている
	④③	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか	6	1		ヒヤリハットを書くことで大きな事故防止や意識改革ができると感じている 予防対策の共有意識が個々で違うと感じたことがあった。